



さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

2024年3月期決算のお知らせ

株式会社 T&Dホールディングス

2024年5月15日



写真は、「Try&Discoverフォトコンテスト2023 ～さあ、しあわせを重ねよう。～」の受賞作品(一部)です。

Copyright T&D Holdings, Inc. All Rights Reserved.

目次・グループストラクチャー

【決算のポイント】 P. 2

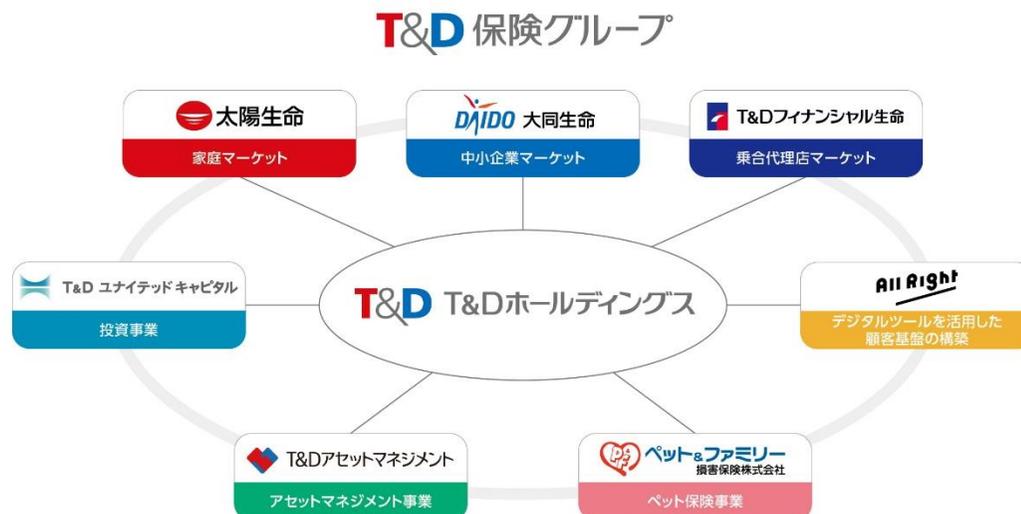
I. グループ概況 P. 3

II. 国内生命保険事業 P. 6

III. 事業ポートフォリオ多様化 P. 11

IV. 業績予想・株主還元 P. 13

V. 参考 P. 14



おかげさまで、T&Dホールディングスは
本年4月に設立20周年を迎えました。

Try & Discover
20th
ANNIVERSARY

<本資料における用語の定義>

【連結】 T & Dホールディングス連結
【太陽】 太陽生命保険
【TDF】 T & Dフィナンシャル生命保険
【TDAM】 T & Dアセットマネジメント

【3社合算】 生命保険会社3社（太陽生命・大同生命・T & Dフィナンシャル生命）の単純合算
【大同】 大同生命保険
【TDUC】 T & Dユナイテッドキャピタル
【P & F】 ペット&ファミリー損害保険

【決算のポイント】

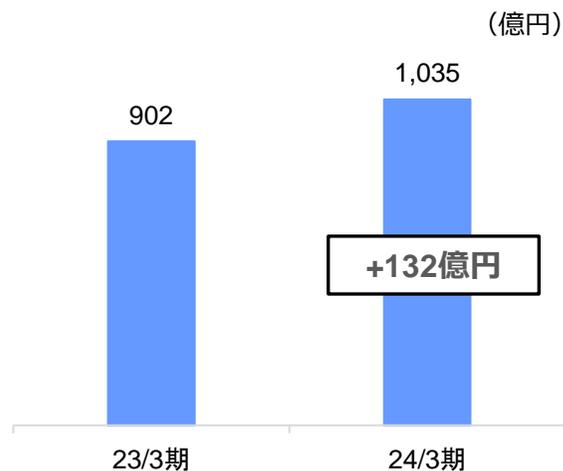
- ・グループ修正利益は、国内生命保険事業における新型コロナ関連の支払減少等の保険収支改善等により前期から増加。国内生命保険事業の契約業績は、主力商品の販売好調により堅調に推移。
- ・2025年3月期の1株当たりの配当金（予想）は2024年3月期より10円増配の80円、10期連続の増配予定。

	項目	23/3期	24/3期	前期差	前期比	主な増減要因
グループ 連結	グループ修正利益	902億円	1,035 億円	+132億円	+14.7%	国内生命保険事業における新型コロナ関連の支払減少等の保険収支改善等。
	親会社株主に帰属する 当期純利益 (△は純損失)	△1,321億円	987 億円	+2,309億円	—	前期に海外再保険関連会社で米国金利上昇に伴う多額の一時的な評価性損失等が発生した反動等。
国内生命 保険事業	新契約年換算保険料	1,508億円	1,983 億円	+474億円	+31.5%	一時払商品の販売増加や、対面・非対面を融合したハイブリッド型営業およびお客さまニーズに丁寧に対応したコンサルティング営業の推進等による主力商品の販売好調。
	保有契約年換算保険料 (23/3末)	15,650億円	16,336 億円 (24/3末)	+686億円 (前年度末差)	+4.4% (前年度末比)	
	保険料等収入	21,683億円	24,641 億円	+2,957億円	+13.6%	
	基礎利益	930億円	1,258 億円	+327億円	+35.2%	
クローズド ブック事業	修正利益（連結）	82億円	57 億円	△25億円	△30.4%	海外再保険関連会社の責任準備金積増等。
株主還元	1株当たり年間配当金	(24/3期予定) 70円	(25/3期予想) 80 円	自己株式取得	(24/3期に帰属) 500 億円（上限）実施予定	

1. 収益関係

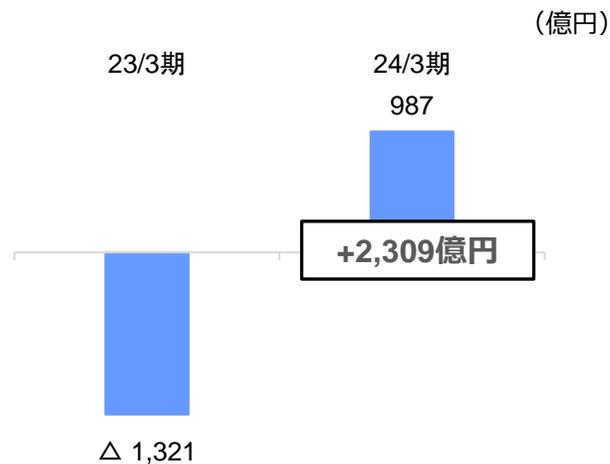
グループ修正利益

主に国内生命保険事業における新型コロナウイルス関連の支払減少等の保険収支改善等により、**前期から+132億円となる1,035億円(前期比+14.7%)**。



親会社株主に帰属する当期純利益

前期に海外再保険関連会社(フォーティテュード社)で米国金利上昇に伴う多額の一時的な評価性損失等が発生した反動により、**前期から+2,309億円となる987億円**。



【参考】グループ修正利益とは

- 当グループでは、ALM(Asset Liability Management)を実施し、金利リスクを含めた各リスクをコントロールして資産と負債を総合的に管理しています。
 - 一方、親会社株主に帰属する当期純損益に対し、市場変動等により会計上生じる経済実態を伴わない損益や負債内部留保の超過繰入(戻入)額を調整した※「グループ修正利益」を、経営実態を表す指標としてKPIに設定し、また、株主還元もグループ修正利益に基づいて行っています。
- ※調整の対象は、フォーティテュード社における一時的な評価性損失や市場価格調整(MVA)に関連する評価性の損益等。

2. MCEV・新契約価値

- ・生命保険会社の企業価値を評価する指標のひとつであるGroup MCEVは、新契約価値の積上げおよび内外株価上昇・国内金利上昇等により前年度末から+5,530億円となる38,844億円。
- ・今期に販売した保険契約（転換契約を含む）から将来生じる利益を現在価値に換算した新契約価値は、太陽生命での代理店チャネルにおける販売減少および医療ニーズの高まりの反動により3社合算で前期から△52億円となる1,617億円。

■ MCEV

(億円)

	24/3末	前年度末差	前年度末比
T&D保険グループ全体 (Group MCEV)	38,844	+5,530	+16.6%
生命保険事業のMCEV	39,832	+5,429	+15.8%
うち太陽生命	11,718	+875	+8.1%
うち大同生命	26,360	+4,135	+18.6%
うちTDF生命	1,534	+268	+21.2%
生命保険以外の事業に係る純資産	△ 988	+101	-

■ 新契約価値

(億円)

	24/3期	前期差	前期比
3社合算	1,617	△ 52	△ 3.2%
太陽生命	283	△ 210	△ 42.7%
大同生命	1,236	+142	+13.0%
TDF生命	97	+14	+18.0%

※生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つ「EV（エンベディッド・バリュー）」は、「貸借対照表の純資産に、価格変動準備金・危険準備金等の内部留保、時価評価されていない資産の含み損益等を加えた純資産価値」と「現時点で保有している契約から将来見込まれる利益の現在価値」を合計したもの。

※「生命保険以外の事業に係る純資産」には、フォーティテュード社における会計上の一時的な評価性損益等を含む。

3. 健全性指標等

- ・グループ連結のソルベンシー・マージン比率は、内外株価上昇等により前年度末から+75.6ptとなる995.7%。監督当局による早期是正措置の基準となる200%を上回っており、十分な健全性を維持。
- ・当グループの内部管理モデルに基づき算出したグループ連結のESRは、前年度末から+22ptとなる252%。

■ ソルベンシー・マージン比率 (SMR)

	23/3末	24/3末	前年度末差
連結	920.1%	995.7%	+ 75.6pt
太陽生命	580.9%	716.2%	+ 135.3pt
大同生命	1,116.1%	1,193.5%	+ 77.4pt
TDF生命	659.4%	567.6%	△ 91.8pt

■ ESR※

	23/3末	24/3末	前年度末差
連結	230%	252%	+ 22pt

- ※ ESRは、経済価値ベースの健全性指標として当グループが導入している指標で、当グループの内部管理モデルに基づき算出。
- ※ 2025年度導入予定の経済価値ベース資本規制を踏まえ見直した内部管理モデルに基づく24/3末ESRは239%（2024年度より適用）。

4. 契約業績

- 太陽生命での医療ニーズの高まりの反動があった一方、一時払商品の販売増加や、対面・非対面を融合したハイブリッド型営業およびお客さまニーズに丁寧に対応したコンサルティング営業の推進等による主力商品の販売好調により、新契約年換算保険料は、3社合算で前期から+474億円となる1,983億円、保有契約年換算保険料は、3社合算で前年度末から+686億円となる16,336億円。

■ 新契約年換算保険料※1

(億円)

	24/3期	前期差	前期比
3社合算	1,983	+474	+31.5%
うち第三分野	419	+36	+9.5%
太陽生命	324	△ 8	△ 2.7%
うち第三分野	194	△ 12	△ 6.1%
大同生命	735	+65	+9.8%
うち第三分野	182	+8	+5.0%
TDF生命	923	+417	+82.7%
うち第三分野	43	+40	-

■ 保有契約年換算保険料※1

(億円)

	24/3末	前年度末差	前年度末比
3社合算	16,336	+686	+4.4%
うち第三分野	2,968	+97	+3.4%
太陽生命	5,641	△ 85	△ 1.5%
うち第三分野	1,369	+33	+2.5%
大同生命	8,064	+43	+0.5%
うち第三分野	1,522	+23	+1.5%
TDF生命	2,630	+728	+38.3%
うち第三分野	76	+41	+117.2%

【参考】各社の契約業績指標※1（各社の経営目標にあわせて設定している経営指標）

(億円)

	太陽生命			大同生命			TDF生命		
	保障性年換算保険料※2			新契約高※3			年換算保険料		
新契約業績	24/3期	前期差	前期比	24/3期	前期差	前期比	24/3期	前期差	前期比
	206	△ 11	△ 5.4%	47,898	+5,025	+11.7%	923	+417	+82.7%
保有契約業績	24/3末	前年度末差	前年度末比	24/3末	前年度末差	前年度末比	24/3末	前年度末差	前年度末比
	1,621	+6	+0.4%	466,376	△ 462	△ 0.1%	2,630	+728	+38.3%

※1 契約業績指標は、個人保険・個人年金保険の合計。また、新契約業績には、転換による純増加を含む。

※2 太陽生命の経営指標で、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保障部分の合計。

※3 大同生命の経営指標で、個人保険・個人年金保険の契約高にJタイプ、Tタイプ、介護リーフα、一時金型Mタイプ等の第三分野の保障金額を加算した指標。

5. 保険料等収入・基礎利益

- ・ 保険料等収入は、主力商品の販売好調等により、3社合算で、**前期から+2,957億円となる24,641億円**。
- ・ 基礎利益は、為替ヘッジコストの増加等があった一方、新型コロナ関連の支払減少等により、3社合算で、**前期から+327億円となる1,258億円**。

■ 保険料等収入

(億円)

	24/3期	前期差	前期比
3社合算	24,641	+2,957	+13.6%
太陽生命	7,028	+595	+9.3%
大同生命	8,437	+334	+4.1%
TDF生命	9,175	+2,028	+28.4%

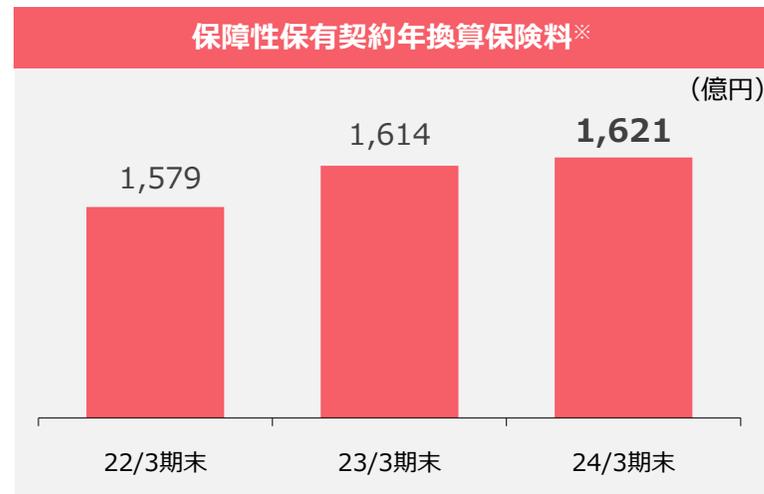
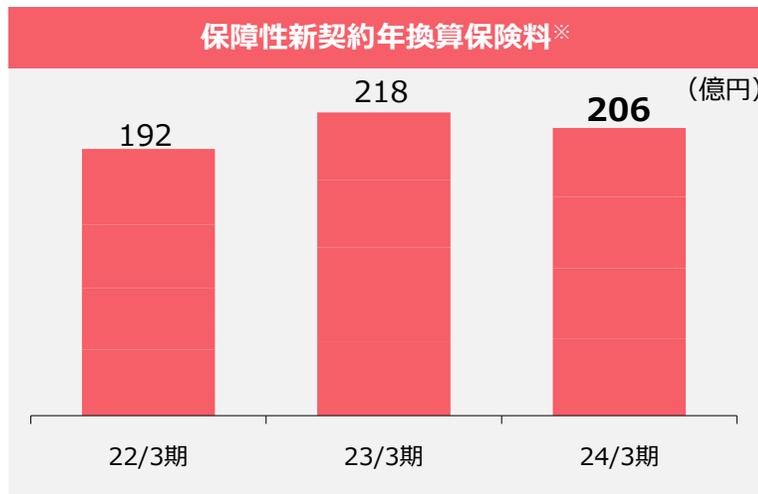
■ 基礎利益

(億円)

	24/3期	前期差	前期比
3社合算	1,258	+327	+35.2%
太陽生命	407	+194	+91.4%
大同生命	865	+115	+15.3%
TDF生命	△ 14	+17	-

【参考】 太陽生命

- 保障性新契約年換算保険料※は、前年の新型コロナ感染拡大による医療ニーズの高まりの反動により減少。保障性保有契約年換算保険料※は、前年度に引き続き上場以来の最高値を更新。



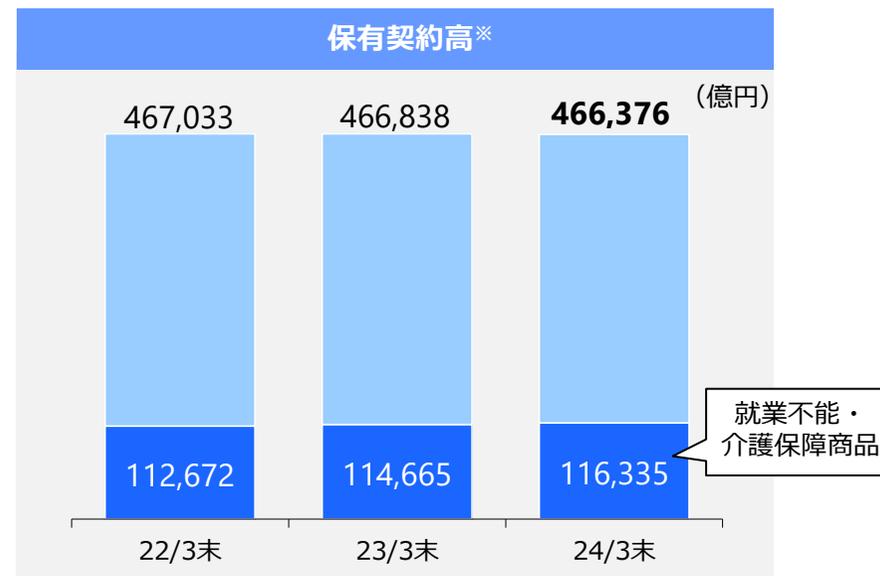
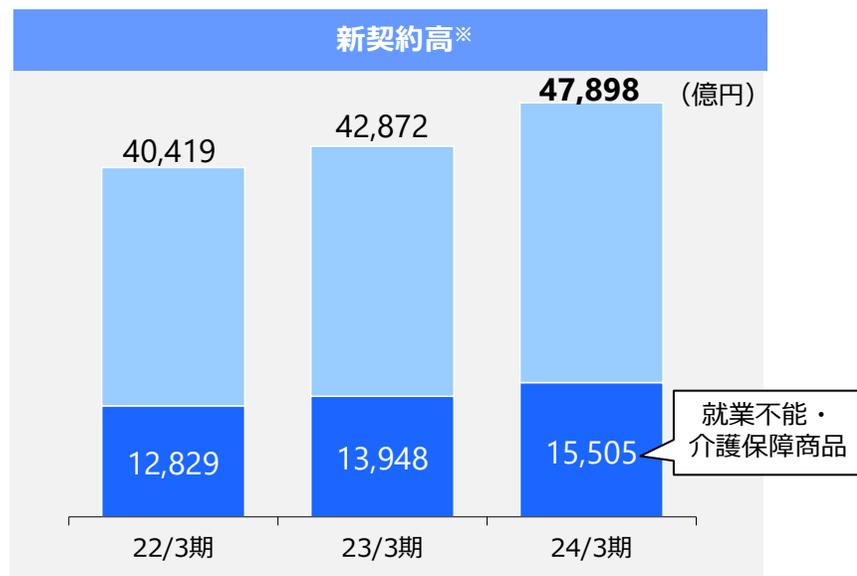
- 保障性新契約年換算保険料※は、インフォーマーシャルやインターネット広告等を経由したダイレクト情報を活用し、対面・非対面を融合させた「ハイブリッド型営業」の推進、営業職員数の増加、新商品の発売等により、22年3月期から増加。
- 保障性保有契約年換算保険料※は、新型コロナの支払基準変更等の影響で、一時的に解約・失効が増加したものの、新商品の販売好調等により、前年度に引き続き上場以来の最高値を更新。

- ・ 2023年5月に、健康状態に不安のあるお客さま向けのがん保険「告知緩和型がん診断保険」「告知緩和型がん治療保険」を発売し、選択緩和型商品のラインナップを拡充。
- ・ ダイレクト情報を通じた「ハイブリッド型営業」のさらなる推進とリモート募集等の販売手法の多様化を図ることで、新たなお客さまとの接点を創出しマーケットを拡大。

※ 保障性年換算保険料とは、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保障部分の合計。同指標はE・Vの伸展に大きく寄与するため、太陽生命が契約業績の中で重視している独自指標。

【参考】大同生命

- 新契約高は堅調に推移し、前年度から増加。保有契約高は前年度並みの水準を確保。



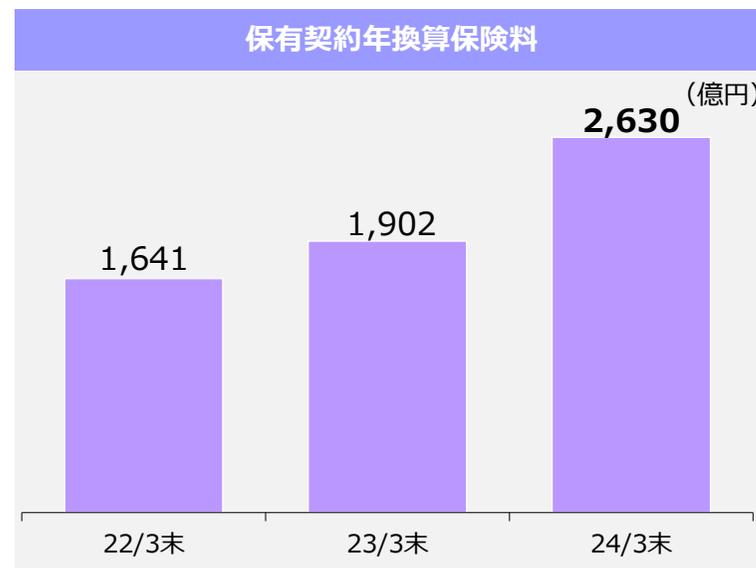
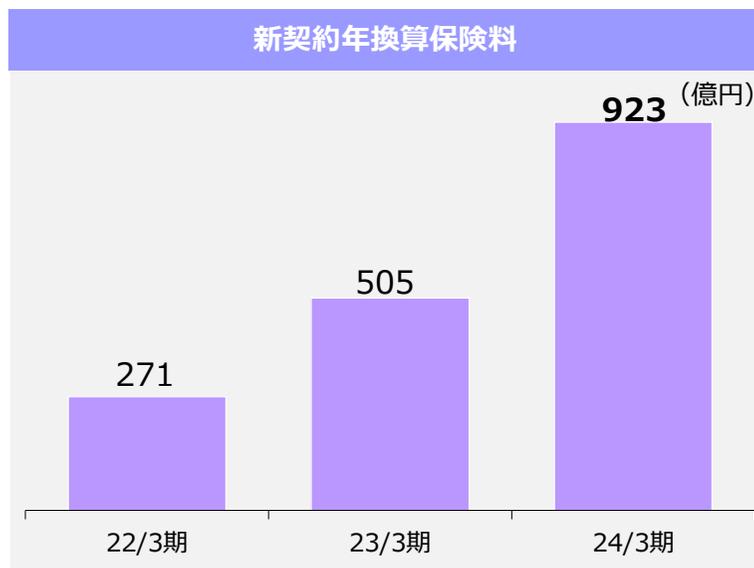
- 「新契約高」は、死亡保障・就業不能保障・介護保障等、お客さまの幅広い保障ニーズにお応えする丁寧なコンサルティング営業を実践したこと等により堅調に推移。「就業不能・介護保障商品」の新契約高も前年度から増加。
- 「保有契約高」は、お客さまである中小企業の資金需要の増加等により、「解約失効高」が増加したものの、「新契約高」が堅調に推移したことにより、前年度並みの水準を確保。

- ・ 2023年度は、法人向け医療保険「一時金型Mタイプ」（2023年6月）や経営者の健康管理を後押しする「健康エール割（優良体割引特約）」（2023年12月）を発売し商品ラインナップを拡充。
- ・ また、経営者向けWebコミュニティ「どうだい？」（登録者数：6.4万名）や健康経営の総合支援ツールである「KENCO SUPPORT PROGRAM」（利用社数：4.0万社）、人手不足の解消を支援する「人材採用・育成支援サービス」（2024年1月開始）等、中小企業のお客さまの課題解決に役立つ様々なソリューションを提供。

※当ページ記載の「新契約高」「保有契約高」には、「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフ」等の介護保険金額および「一時金型Mタイプ」の入院一時金額を基準として計上した金額を含む。

【参考】 T&Dフィナンシャル生命

- 新契約年換算保険料は、円建の一時払商品の販売好調等により、前年度から約1.8倍。保有契約年換算保険料は、前年度末から大幅に増加。



- 2023年4月に販売開始した一時払個人年金保険「ファイブテン・ワールド3」（円貨プラン）の販売が好調に推移したことにより、新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料ともに前年度・前年度末から大幅に増加。

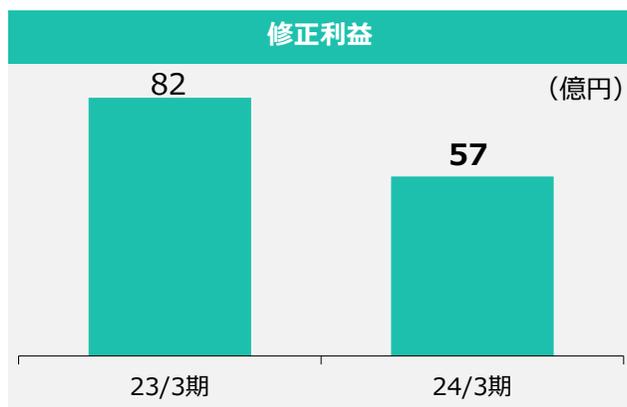
・ 2023年4月より販売を開始した「ファイブテン・ワールド3」は、従来商品に「円貨プラン」を追加し、円建商品のラインナップを拡充。「生涯プレミアムシリーズ」、「ハイブリッドシリーズ」に加え、同商品の提供により、幅広いお客さまニーズに対応。

6. クローズドブック事業（TDUC連結）

- 修正利益は、フォーティテュード社※における変額年金保険の責任準備金積増等により、**前期から△25億円となる57億円。**
 - 当期純利益は、前期にフォーティテュード社※において、米国金利上昇に伴う多額の一時的な評価性損失等が発生した反動により、**前期から+2,100億円となる△24億円。**
- ※TDUCの投資先である海外再保険関連会社

(億円)

	23/3期	24/3期	前期差
経常収益	24	4	△ 19
経常費用	2,157	25	△ 2,132
うち持分法による投資損失	2,119	2	△ 2,116
経常利益（△は損失）	△ 2,132	△ 20	+2,112
当期純利益（△は純損失）	△ 2,124	△ 24	+2,100
修正利益	82	57	△ 25



【ご参考(当期純利益の前期差)】

- 前期にフォーティテュード社において、米国金利上昇に伴い多額の一時的な評価性損失等を計上※した反動等により、当期純利益は大幅に改善した。
※保有資産（主に債券）の多くが時価評価される一方、保険負債の評価に金利変動は反映されない。
前期は、金利上昇に伴う保有資産の評価損発生により多額の当期純損失が発生。
- なお、当グループでは、親会社株主に帰属する当期純損益に対し、市場変動等により会計上生じる経済実態を伴わない損益や負債内部留保の超過繰入（戻入）額を調整した「グループ修正利益」を、経営実態を表す指標としてK P Iに設定し、また、株主還元もグループ修正利益に基づいて行っている。

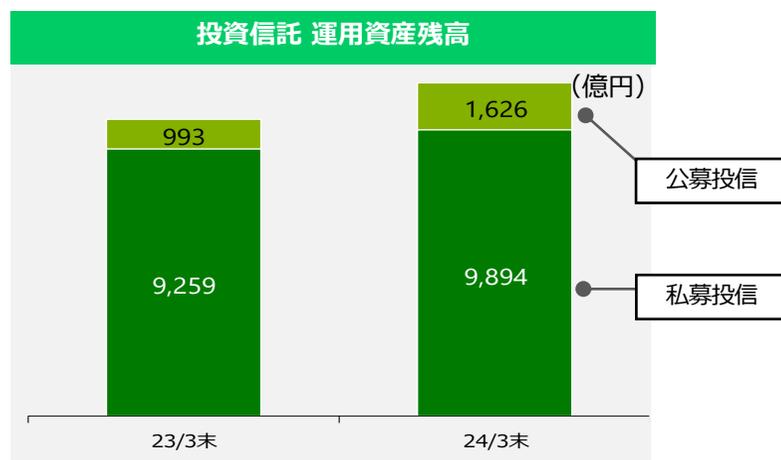
7. その他の事業ポートフォリオ

アセットマネジメント事業 (TDAM)

投資信託事業を中心とした資金流入および資産運用好調により運用資産残高が増加し、営業収益・経常利益・当期純利益は、前期から増加。

	(百万円)		
	23/3期	24/3期	前期差
営業収益 (実質ベース) *	2,702	2,945	+242
経常利益 (△は損失)	△ 133	47	+180
当期純利益 (△は純損失)	△ 251	31	+283

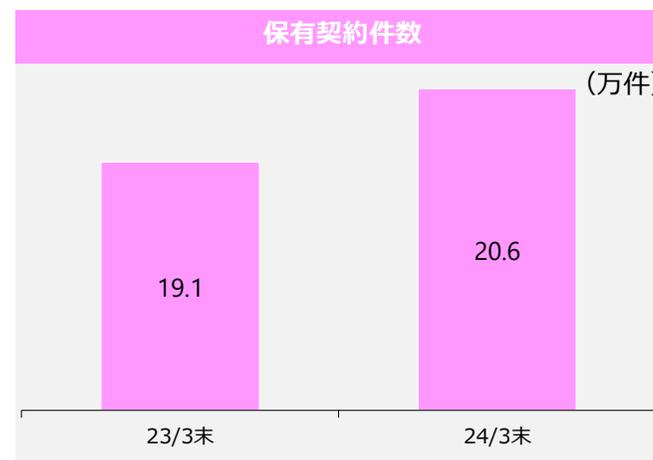
※販売会社や運用委託先への支払いを控除した実質的な営業収入



損害保険【ペット保険】事業 (P&F)

新契約件数が伸展したことにより保有契約件数が増加し、経常収益は順調に拡大。当期純利益は前期から大幅に増加。

	(百万円)		
	23/3期	24/3期	前期差
経常収益	9,887	10,444	+557
経常利益	202	755	+553
当期純利益	146	566	+420



8. 業績予想・株主還元

■ 25年3月期 通期業績予想

(億円)

	24/3期実績	25/3期通期予想
保険料等収入(3社合算)	24,641	20,500
太陽生命	7,028	5,700
大同生命	8,437	8,500
TDF生命	9,175	6,300
経常利益(連結)	1,598	1,800
太陽生命	553	780
大同生命	1,016	1,030
TDF生命	73	40
当期純利益(連結)	987	1,040
太陽生命	389	430
大同生命	609	620
TDF生命	48	20
グループ修正利益	1,035	1,170

■ 株主還元

	23/3期実績	24/3期 予定・実績	25/3期予想
1株当たり年間配当金	62円	(予定)70円	80円 [※]
中間配当	31円	(実績)35円	40円

※10期連続の増配の予定

	23/3期に帰属	24/3期に帰属
自己株式取得	約600億円	500億円(上限)

※ 当ページに記載の各予想値は今後様々な要因によって実際の数値と大きく異なることがあります。

【参考】 損益関係①

■ グループ連結

(億円)

	23/3期	24/3期	前期差	前期比
経常収益	32,141	32,079	△ 61	△ 0.2%
うち保険料等収入	21,782	24,745	+2,963	+13.6%
うち資産運用収益	5,007	6,420	+1,412	+28.2%
経常費用	32,882	30,481	△ 2,400	△ 7.3%
うち保険金等支払金	25,479	21,651	△ 3,828	△ 15.0%
うち責任準備金等繰入額	29	2,467	+2,438	-
うち資産運用費用	1,910	3,052	+1,141	+59.7%
うち持分法による投資損失	2,173	23	△ 2,149	△ 98.9%
経常利益 (△は損失)	△ 741	1,598	+2,339	-
特別損益	△ 74	3	+77	-
契約者配当準備金繰入額	223	250	+26	+11.9%
税金等調整前当期純利益 (△は純損失)	△ 1,039	1,350	+2,390	-
法人税等合計	277	350	+72	+26.0%
親会社株主に帰属する当期純利益 (△は純損失)	△ 1,321	987	+2,309	-
グループ修正利益	902	1,035	+132	+14.7%

①

②

③

④

⑤

⑥

■ 含み損益 (生保一般勘定)

(億円)

	3社合算		太陽生命	
	24/3末	前年度末差	24/3末	前年度末差
有価証券の差損益	2,774	+595	2,783	+1,165
うち公社債	△ 4,146	△ 4,000	△ 840	△ 1,319
うち株式	4,329	+1,827	2,655	+1,348
うち外国証券	1,908	+2,112	677	+1,018
うち金銭の信託	△ 879	△ 333	-	-
土地等の差損益	1,648	+108	710	+43
	大同生命		TDF生命	
	24/3末	前年度末差	24/3末	前年度末差
有価証券の差損益	738	△ 99	△ 747	△ 469
うち公社債	△ 3,457	△ 2,542	151	△ 137
うち株式	1,674	+478	-	-
うち外国証券	1,234	+1,094	△ 3	△ 1
うち金銭の信託	-	-	△ 879	△ 333
土地等の差損益	938	+64	-	-

※ 有価証券の差損益は、有価証券のうち市場価格のない株式等および組合出資金等は除く。

※ 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出。

<主な増減要因>

- ① 新契約の増加等
- ② 円安による為替差益の増加等
- ③ 新型コロナウイルス感染症関連の支払減少等
- ④ 前期の大同生命・TDF生命の出再の反動等
- ⑤ 為替ヘッジコストの増加等
- ⑥ フォーティテュード社において会計上の一時的な評価性損失等が発生した反動等

【参考】 損益関係②

■ 国内生命保険事業

(億円)

	太陽生命			大同生命			TDF生命		
	24/3期	前期差	前期比	24/3期	前期差	前期比	24/3期	前期差	前期比
経常収益	9,892	+279	+2.9%	11,837	△ 492	△ 4.0%	10,282	+472	+4.8%
うち保険料等収入	7,028	+595	+9.3%	8,437	+334	+4.1%	9,175	+2,028	+28.4%
うち資産運用収益	2,330	+183	+8.5%	3,063	+470	+18.2%	1,062	+782	+279.2%
経常費用	9,339	+207	+2.3%	10,821	△ 668	△ 5.8%	10,209	+510	+5.3%
うち保険金等支払金	6,923	△ 341	△ 4.7%	5,883	△ 2,992	△ 33.7%	8,785	△ 498	△ 5.4%
うち責任準備金等繰入額	9	+6	+258.8%	1,674	+1,668	-	1,095	+1,076	-
うち資産運用費用	1,245	+530	+74.2%	1,791	+641	+55.9%	20	△ 14	△ 42.4%
経常利益	553	+71	+14.9%	1,016	+175	+20.9%	73	△ 37	△ 33.9%
特別損益	59	+86	-	△ 49	△ 6	-	△ 6	+0	-
契約者配当準備金繰入額	136	+27	+25.4%	114	△ 0	△ 0.8%	0	+0	+253.7%
税引前当期純利益	476	+130	+37.9%	852	+170	+24.9%	66	△ 36	△ 35.5%
法人税等合計	86	+9	+12.3%	243	+54	+28.6%	18	△ 5	△ 22.5%
当期純利益	389	+121	+45.3%	609	+116	+23.5%	48	△ 31	△ 39.4%
基礎利益(△は損失)	407	+194	+91.4%	865	+115	+15.3%	△ 14	+17	-
修正利益*	389	+121	+45.3%	609	+116	+23.5%	13	△ 82	△ 85.6%
順ざや(△は逆ざや)	195	△ 225	△ 53.6%	209	+52	+33.7%	△ 10	+8	-

※ TDF生命の数値は、当期純利益から市場価格調整（MVA）に関連する評価性の損益を調整して算出。

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

 T&Dホールディングス

 太陽生命

 大同生命

 T&Dフィナンシャル生命

 T&Dアセットマネジメント

 ペット&ファミリー
損害保険株式会社

 T&D ユナイテッド キャピタル

 All Right

【お問合せ先】

株式会社 T & D ホールディングス	広報課	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課	TEL 03-3272-6406
大同生命保険株式会社	広報課	TEL 03-3272-6206
T & D フィナンシャル生命保険株式会社	広報課	TEL 03-6745-6808